

表題は一緒に歩む男女共同参画をイメージしています

男女共同参画を推進しています⑥

大崎市男女共同参画推進基本計画を紹介するシリーズも最後となりました。今号は、基本的施策⑥「家庭生活における活動及び社会活動の両立支援に関する施策」について紹介いたします。

この施策の目的は、対等のパートナーとしての男女のワーク・ライフ・バランスの実現です。

「施策の方向」としては、次の7つの項目を掲げています。

▼「性別役割分担の解消に向けた支援」

具体的施策として、

・ 女性組織のネットワークづくり

・ 介護予防の知識と技術の習得

▼「育児介護休業取得制度の活用促進」

具体的施策として、

・ 育児制度の周知徹底、利用促進、情報提供

▼「子ども家庭相談、子育て支援」

具体的施策として、

・ 子ども家庭相談の充実

▼「保育・託児サービスの充実」

具体的施策として、

・ 保育サービスの充実

・ 児童の健全育成事業の推進

▼「障がい者・高齢者の自立・介護支援」

具体的施策として、

・ 高齢者の介護支援の推進

・ 障がい者の生活環境の整備

・ 障がい者の雇用・就労支援

▼「保険医療サービスの充実」

具体的施策として、

・ 障がい者の保健・医療の充実

▼「ひとりの親家庭への自立支援」

具体的施策として、

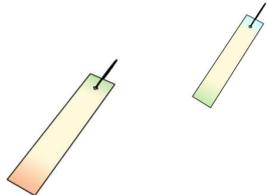
・ ひとり親家庭への自立支援の推進

男女の性別役割分担意識の解消を図ることはもとより、

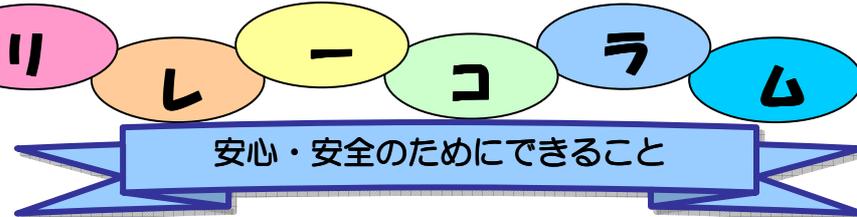
男女が共に家庭生活における活動と社会的活動を両立することができるよう、各種の施策を積極的に展開します。

また、高齢者・障がい者の自立を促すような支援の施策を

展開します。



市民参画の リレーコラム



「リレーコラム」へは、市民参画による寄稿を頂いております。

さて、次号（H23.10.1 発行予定）では、「大崎市古川農産加工クラブ連絡協議会」の掲載を予定しています。お楽しみに。

東日本大震災により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。3月11日、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が東北から関東にかけての広い地域を直撃しました。大津波によって建物が流され多くの尊い命が失われてしまいました。あれから4ヶ月が経ち今、復旧・復興に力を入れ一日も早く元気な姿になるようみんなが力を合わせて頑張っております。

さて、大崎市婦人防火クラブ連合会では、3月13日より18日まで支援作業の炊き出し、塩おにぎり作り1日3,500個から4,500個を各地区クラブ員20人で午前8時半から午後4時半まで各避難所に届けました。

今回の震災で防災に対しての意識の無さを痛感させられたと同時に、今回このような災害時に組織を上げてもっとスピーディーに応援できるよう、みんなで話し合ってくださいと思います。

また、大きな余震が来ると言われていますので、防災グッズのチェックをして下さい。今後とも予防消防に取り組んでまいりますので、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

大崎市婦人防火クラブ連合会 支部長 千葉 ひさを さん



特集：東日本大震災を経験して

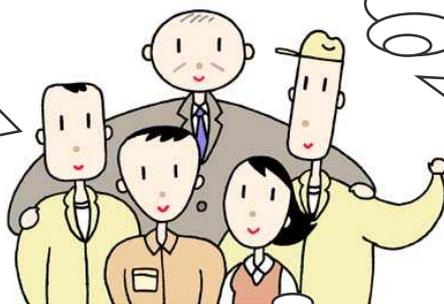
東日本大震災から約4ヵ月が経過しますが、今号の編集に携わった委員の声をまとめてみました。

避難所では、助け合いながらの老若男女共同参画生活でした。今、出来ることを考えて、率先して行動する市民が多く見受けられ心強く思いました。

避難所に身をよせるのは、「市民とは限らない」こともありますね。習慣の違いやストレスなどからトラブルが、生じやすいと思います。あらゆる暴力の根絶や皆が安心して、利用できる配慮が、男女共同参画といえるのではないのでしょうか。

男女共同参画の視点では、一人ひとりが「一人の人間として大切にされる」社会を目指しています。

特に避難所では、女性や高齢者の着替えやおむつ交換、赤ちゃんへの授乳の際に安全・安心なスペースの確保については、早めの対応が必要だと感じました。



子育てや介護が必要な家庭では、日ごろから家族や夫婦間の役割分担についての確認が必要です。場合によっては、「仕事より家庭へ」と優先順位を切り替えることも必要ではないでしょうか。いまこそワーク・ライフ・バランスが大切です。

今回の災害は、被害が広域に広がり、交通手段や通信方法が限られてしまいました。

緊急時の連絡や安否確認について家族で、話し合しましょう。災害伝言板の利用も1つの方法ですね。

また、子どもが通学・通園する学校や保育園などの緊急の連絡方法についても確認が大切です。

日中や夜間に災害が起きると、消防団や自主防災組織の機能が遅れる場合があります。

家庭内での初期行動について、確認が必要です。

内閣府男女共同参画局では、平成23年6月23日付け「女性や子育てのニーズを踏まえた災害対応について」の指針が発表されました。市においても、東日本大震災での経験から、避難者への不安を緩和するため適切な措置を講じていくよう、関係機関との意見交換を重ねることが必要です。

また、この被災により、人間関係がギクシャクしたり、自分を責めたり、不安のあまり体調を崩していることさえ、誰にも話せない方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

市では、男女共同参画に関する相談室を開設しています。まずは、お気軽にお電話ください。

男女共同参画相談室 場所：古川駅前 ふるさとプラザ2階

TEL：0229-24-3950

あとがき 女子サッカーなでしこJAPANのワールドカップ初優勝、古川工業高等学校野球部の甲子園大会初出場と勇気付けられるニュースが連日届けられています。本当におめでとうございます。

さて、市は「心は1つ！大崎市」をスローガンに復興に取り組んでいます。皆様も心をひとつに出来ることから始めましょう。余震が続いています。お互い気をつけて生活しましょう。

おおさき男女共同参画推進ニュース『With』では、みなさんのご意見・感想・情報をお待ちしております。

大崎市市民協働推進部まちづくり推進課
男女共同参画推進室 電話 23-5069